

東灘区

項目	意見の概要	意見に対する考え方
<p>まちの魅力をみがき、活力を与える</p>	<p>東灘区の歴史・文化について、基礎的な文献や地域遺産の調査を区全体で進めることで、新たな歴史資料の発見やそれを活用したまちづくりが行えるのではないかと。</p> <p>神戸大学海事科学部以外とも今後連携を進めていくことが望ましいのではないかと。</p>	<p>東灘区計画の取り組み目標である「3. まちの魅力をみがき、活力を与える」の中に「史跡・観光資源・伝承などをPRしていきます」として、東灘区の歴史の魅力をつたえる取り組みを掲げています。</p> <p>地域の方々や専門家の意見を聞きながら、「歴史掘り起こしマップ」を作成し、歴史まち歩きに活用しています。今後も、東灘区の歴史・文化の魅力発信に取り組めます。</p> <p>東灘区計画の取り組み目標である「3. まちの魅力をみがき、活力を与える」の中に「大学と地域の連携を進め、大学と地域の交流が双方の活性化につながるようにならねよう」、「大学のもつ資源をまちづくりに活かします」として、大学の資源を活かし、活力あるまちをつくる取り組みを掲げています。</p> <p>現在、東灘区内にある大学(学部)と地域連携協力に関する協定を結び、相互の資源を活用して協力するとともに、子育てや高齢者等の個別の取り組みの中で東灘区外にある大学(学部)からも協力をいただいています。今後とも、大学(学部)の所在地にかかわらず相互に協力しながら連携を進めていきます。</p>
<p>身近な自然を守り、親しむ</p>	<p>六甲山の景観ときれいな住吉川という環境は、東灘に住む事の魅力の一つになっているが、住吉川の両側に超高層マンションが建つと聞いている。芦屋が景観法に基づいて建築規制を行っているように、神戸市でも規制を行って景観と住環境を守ってほしい。</p>	<p>都市景観の形成については、神戸市では、景観法と神戸市都市景観条例に基づいて、地域ごとの特色に応じた景観形成を図るとともに、市全域を対象として、一定規模以上の建築物等について誘導基準を定め、周辺の景観と調和のとれたものとなるよう届出による助言・指導を行っています。</p> <p>住吉川周辺は、都市景観条例に基づく「景観形成指定建築物等届出地域」に含まれており、東灘区役所周辺を含めた国道2号沿道については、駅前再開発の促進や都市機能の強化など、区を中心核にふさわしい土地利用を図りながら、周辺のまちなみに調和した建物のデザインを誘導していくこととしています。</p> <p>より良好な景観形成を図っていくためには、地域ごとのルールである地区計画や景観形成市民協定などの制度を活用しながら、地域の合意形成をはかり、地域の実情に即した魅力的な景観を誘導していくことが有効であると考えており、東灘区計画の中でも、「5. みんなが主体となって、互いに育ちあいながらまちをつくる」の中に「地域の特徴を大切にしたいまちづくりを進め、地域の力を高めよう」と掲げています。市としても、地域が主体となるこのような取り組みに対して、必要な支援を行い、まちの魅力向上に取り組んでいきます。</p>